

# 『続・三々な経営』の「はじめに」

企業経営漫談士 岡野実空

令和元年6月のコラム『三々な経営』150号到達の後、各社で総括報告会を行いました。その際に皆さんより頂戴した質問や要望にお応えするだけでなく、その他の話題を加え、次回より下記の分類で『続・三々な経営』を再開します。今秋のMCN10周年まで、毎週月曜日毎に掲載する予定ですので、引き続きご笑読ください。

## その1: 「補完」項目 Z-05～

ここでは、各社報告会やこれまで個人的に頂戴した質問への回答の他、その後自身で気づいたものも含め、元々の本編を補完する内容を扱います。

因みにその筆頭は、「リスク」。コロナ禍ゆえに、「操業リスク」中心にならざるを得ない現状を踏まえ、それ以外にもミドルとして目配りすべき「リスク」について、次回取り上げます。

また皆さんから特に要望が強かった「推薦図書」を、テーマ別にご紹介します。先のシリーズと並行して進めた断捨離にも耐え、いまだ我が本棚に居座り続けるビジネス本の一覧表です。

## その2: 「熟語」 Z-21～

次の項目群は、先の『四字熟語』シリーズの折に扱わなかった、「二字」と「三字」の熟語。

まず『二字熟語』は、星の数ほどある中から「三」を頭とするものを厳選してご紹介します。また「三愛」のような、各社で長年「標語」として使われてきたものも取り上げる予定です。(Z-21～)

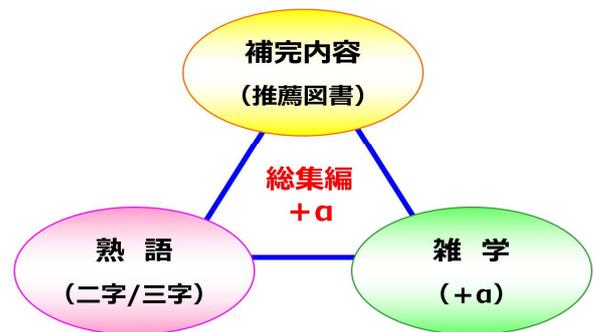
さらに『三字熟語』は、先のシリーズと同じ「戦略」思考の枠組みを使いますが、皆さんがよくご存知の熟語を一ひねりしたものを中心にご紹介していきます。「三の権化」北城格太郎氏の「四の五の言わない」という制止を振り切って始めた先の『四字熟語』が、図らずも？ 抹香臭くなってしまったことを反省し、今回は宗教色を極力抑え「三字熟語」で「戦略」論を展開します。(Z-31～)

いずれにせよ今回は、『四字熟語』のような別扱いにはせず、これまでの『三々な経営』の総集編として、それを構成する各要素間の関係を確認しつつ、コラム全体を総括します。

## その3: 「雑学」項目 Z-51～

さて三番目の項目群は、一言でいうと「余録」(禄)。『三々な経営』という題目ゆえに、その趣旨から遠い内容、また普遍性

Z-04 『続・三々な経営』の項目



や不変性に乏しいと判断した題目は、これまでほとんど除外してきましたが、その「はぐれ軍団」コーナーです。

因みにその出どころの大半は、懐かしの「情報カード」。コンピューターが企業に入り始めた時代に社会人となった私たちの、個人的な情報ツールは、手帳とノート、そして当時流行のB6カードでした。その大半はすでに廃棄済みですが、時代を越えてきた「雑学」の一部は、PCに移住し眠っています。その中から『三々』に該当するものを見直し、この「余録」で皆さんに引き継ぐことにします。このコラムをスタートした当時、口の悪い友人から、「杓子定規なマネジメントの回顧録ではなく、『変人』としての社会時評を期待する」と言われました。その意味では、このコーナーの方が皆さんの期待に沿い、意外にお役に立つのかも知れません。

また現在、来たる今秋の10周年に向け、MCNではイノベーションの「触媒」としての「具象⇄抽象」プログラムの整備を進めています。それに関する「情報」も逐次ご紹介していく予定です。

最後になりましたが、すでにお気づきのとおり、MCNのホームページが昨年末に一新されました。以前に比べ、皆さまからのアクセスが容易になりましたので、この続編だけでなく、MCNの活動へのご意見、ご要望など、お気軽にお寄せください。該当するメンバーが迅速に対応させていただきます。皆さまからのご連絡をお待ちしています。

2021年1月18日 実空